

## 生活において麻痺側上肢の参加が減少していた患者に対し CI療法を行うことで上肢の参加向上を認めた一例

○今井 裕人

1) 錦海リハビリテーション病院 リハビリテーション科

**Keywords:** CI療法, MAL, 上肢機能

### 【はじめに】

今回、脊髄梗塞にて左下肢麻痺を呈した患者を担当させていただいた。問題点として3年前の脳梗塞から右上下肢麻痺が残存しており、特に右上肢は生活場面での参加頻度低下を認めていた。本人からも右上肢を生活で使いたいと希望があったため、使用頻度向上や機能向上を目的に介入した。CI療法を行うことで行動変容が認められたため以下に報告する。なお、本発表は当院倫理委員会の承諾を得ている。

### 【症例紹介】

氏名：A氏 年齢：90代 性別：男性 利き手：右手 診断名：脊髄梗塞 既往歴：脳梗塞（3年前）

### 【現病歴】

X日に突然呼吸苦があり、救急搬送され脊髄梗塞による大動脈乖離の診断、同日保存的加治療(血圧調整)を行い、X+21日で当院に転院となりリハビリテーション開始となる。障害として左下肢麻痺のみ麻痺が残存している状況であった。

### 【生活歴】

3年前に脳梗塞の既往があり、右の上下肢麻痺を呈していた。退院後の生活で右上肢の使いにくさから自ら利き手交換を行い、使用頻度減少を認めていた。杖歩行が可能であり趣味のグランドゴルフが行えていた。

### 【作業療法評価】

当院転院後1週間以内の評価結果。FMA：右上肢 52/66点、STEF(右/左)：21/90、MAL AOU ・取っ手を把持してカップを持つ：0 ・服の前のボタンを留める：0 4. HDS-R：29/30点 5. SIAS 上肢近位テスト：3、上肢遠位テスト：1C 6. 感覚検査 表在覚：正常、運動覚：正常、位置覚：正常

### 【介入計画】

1. 訓練時間内 1) shaping ・おはじきやコインを摘まみ手の中にとめる・机上にシャツを置き、ボタンの開け閉めを行う。・肩関節の空間コントロール課題 2) task practice ・着ているボタンやチャックの操作・コップに少量の水を入れた状態での口元までのリーチ練習 2. 訓練時間外 transfer package, MAL で上がった活動の模倣を実施。

### 【介入経過】

上肢末梢機能では当院入院1ヵ月程度でつまみ動作が強化され、小さなボタンでもつまむことが可能となった。しかし、上肢の空間保持における肩関節の機能向上は認められなかった。またMALのQOMの聞き取りを毎日行い、「取っ手を把持してカップを持つ」の項目は大きな変化は見られなかった。そこでコップに入れる水の量を調節し、円滑に動作を行えるように難易度調整を行った。更に実際に動作を行う洗面台にて「コップは右手で持つ」の張り紙を貼った。同時に訓練場面で「使用頻度が少ないと機能低下も起こる可能性がある」と伝えることで次の日から麻痺側の使用の報告が本人からあった。その日以降は、口腔ケアを行うときのみ右手でコップを把持するようになった。

### 【結果】

1. 最終評価 1)FMA：右上肢 52→59 2)STEF(右/左)：21→43/90→84 3) motor activity log (以下 MAL) AOU ・取っ手を把持してカップを持つ：0→3 ・服の前のボタンを留める：0→4 4)HDS-R：29/30点 5)SIAS 上肢近位テスト：3、上肢遠位テスト：1C

### 【考察】

今回の上肢機能へのアプローチ方法として、CI療法を取り入れた。van der Lee ら<sup>1)</sup>の報告によると慢性期の脳卒中患者を対象にCI療法を使用した群とその他の訓練を行った群とで比較検討を行いCI療法群のほうがMALの結果が有意に向上したと報告している。今回は慢性期の対象者のため、機能向上よりも使用頻度に重点を置くのが効果的と考えた。MALの結果からも使用頻度向上を認めたためCI療法を行ったのは有効であったと考える。

また、「取っ手を把持してカップを持つ」は使用頻度向上を認めた。Taub ら<sup>2)</sup>は課題志向型アプローチを通して、成功体験や正のフィードバックを得ることによって麻痺手を積極的に使用し、最終的には学習性不応用を克服できると述べている。今回はコップ内に入れる水の量を減らして難易度調整を行うことで円滑に動作が可能となった。これにより成功体験を得ることができ、使用頻度も向上したと考える。本介入の課題として、難易度調整と同時期に「コップは右手で持つ」の張り紙を本人が実際に動作する洗面台に張り付けを行った点が挙げられる。本人の性格上、ストレスとなる可能性もあったため難易度調整をした時点で行動変容を確認する必要があったと考える。